

2018 年 9 月 28 日

健康寿命延伸のためのオープンプラットフォーム事業に取り組む タニタヘルスリンクへの出資について

- ・個人の健康関連情報を集約し、データベースを活用した新しいビジネスモデルを構築
- ・「東京大学センター・オブ・イノベーション（COI）自分で守る健康社会拠点」が開発した技術を用いて、生活習慣病発症リスクを可視化し、予防の促進へ
- ・治療中心から予防・健康管理分野への投資シフトで医療費を適正化

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、株式会社タニタヘルスリンク（本社：東京都文京区、代表取締役社長：丹羽隆史、以下「タニタヘルスリンク」）に対し、同社の新たな事業展開を推進するための資金として、27 億円を上限とする出資を行うことを決定し、23 億円を出資します。

タニタヘルスリンクは健康総合企業の株式会社タニタ（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：谷田千里、以下「タニタ」）の子会社として 2007 年に設立されました。タニタヘルスリンクは、集団健康づくりサービス「タニタ健康プログラム」をベースに、顧客の要望に応じてカスタマイズしたサービス提供を行っており、これまでに 150 を超える自治体や企業、健康保険組合への導入実績を有しています。また、健康管理サイトやアプリの企画運営を通じて、個人を対象とした会員制有料健康管理サービスや「タニタ社員食堂」のヘルシーレシポの提供なども行っています。

今回、さらにタニタヘルスリンクは、個人に関する健康関連情報を集約し、各情報を連携させたデータベースによる健康プラットフォームを構築することで、新たなビジネスモデルに取り組めます。具体的には、「タニタ健康プログラム」を通じて蓄積した計測データや、食事データを含む様々な個人に関する健康関連情報、健診情報を段階的にデータベース化し、それらを「東京大学 COI 自分で守る健康社会拠点」で開発した技術を活用して、個人別の生活習慣病発症リスク情報が可視化できる仕組みを構築します。さらに、このたび共同で出資する株式会社イトーキ、SBI 生命保険株式会社、一般財団法人淳風会、株式会社日立システムズが有する事業ノウハウやデータを活用することで、生活スタイルや趣味嗜好など個人のニーズに応じた最適な健康づくりのためのソリューションを提供します。タニタヘルスリンクは、今後、さらに事業パートナーとの連携を拡大することで、健康寿命延伸のためのオープンプラットフォームの充実を目指します。

高齢化の進行に伴い増加している社会保障給付費と保険料収入の乖離は公費で補われており、特に医療費の適正化は喫緊の課題とされています。INCJ は、タニタヘルスリンクの取り組みが、生活習慣病の治療中心から、早期の予防・健康管理分野に重点を移すものであり、その結果、医療費抑制の貢献に期待できることから、今回の出資を決定しました。今回の増資による調達資金は、主に新規事業のデータベース構築やコンテンツ構築などシステム関連への投資に供される予定です。

株式会社タニタヘルスリンクについて

設 立 : 2007 年 3 月

本 社 : 東京都文京区

代表者 : 丹羽 隆史

事業内容 : (1) WEB サイト・アプリを用いた健康管理サービス
(2) 管理栄養士・健康運動指導士によるヒューマンサービス
(3) 通信対応健康計測機器の販売 他

株式会社タニタについて

設 立 : 1944 年 1 月

本 社 : 東京都板橋区

代表者 : 谷田 千里

事業内容 : 家庭用、業務用健康計測機器（体組成計、活動量計など）の製造・販売

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 INCJ 広報 入江、坂井 東京都千代田区丸の内 1－4－1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階 電 話 : 03-5218-7202
--

別紙

新規支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・事業者名：株式会社タニタヘルスリンク
- ・設立：2007年3月
- ・所在地：東京都文京区
- ・代表者：丹羽 隆史
- ・事業内容：（1）WEB サイト・アプリを用いた健康管理サービス
（2）管理栄養士・健康運動指導士によるヒューマンサービス
（3）通信対応健康計測機器の販売 他

2. 支援決定内容

- ・支援決定金額：27億円（上限）
- ・実投資額：23億円
- ・共同投資家：株式会社イトーキ、SBI 生命保険株式会社、一般財団法人淳風会、株式会社日立システムズ
- ・株式保有割合：非公表
- ・投資ストラクチャー図：別添

3. 投資意義

＜社会ニーズへの対応＞

- ・我が国の国民の平均寿命は世界トップクラスであるが、健康寿命との乖離は男性で9年、女性で12年もの差が存在する。
- ・超高齢化社会に直面する中、健康寿命を延伸することは、国民一人ひとりが豊かな暮らしを送る上で不可欠であり、本取り組みが果たす役割は大きいと考える。

＜成長性＞

- ・タニタヘルスリンクを中心に構築されたデータベースを活用し、同社だけでなく事業パートナーと共に、新たなサービスプログラムの提供が期待される。
- ・タニタおよび本プラットフォーム構想に賛同する事業パートナーなど、民間事業者からの資金の供給が期待される。

＜革新性＞

- ・「東京大学 COI 自分で守る健康社会拠点」で開発した技術を活用し、医学的根拠に基づく可視化・数値化された将来予測の提供や高精度な解析の実現性が高まった。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見

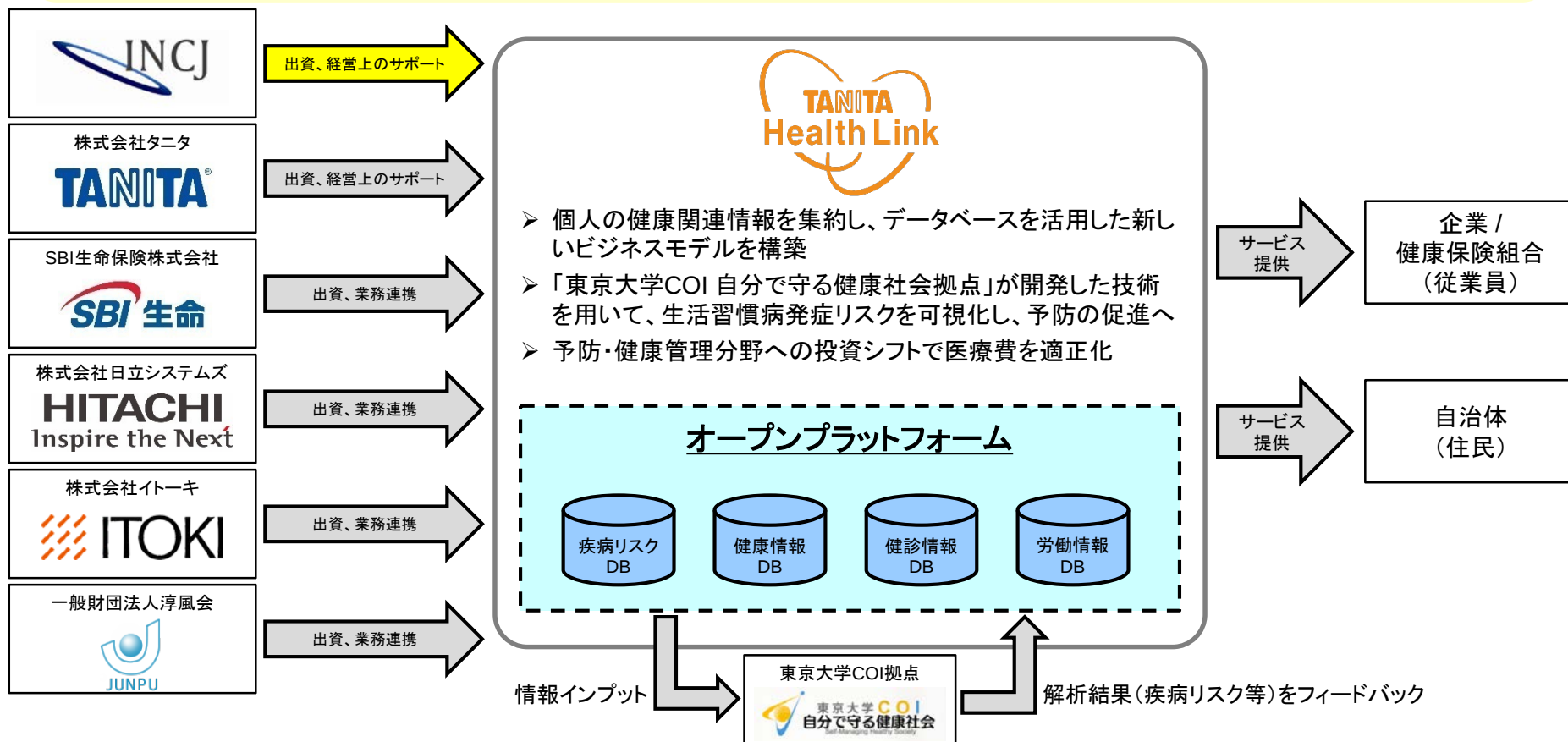
本事業の実施にあたっては、企業の健康経営を支援するとともに、個人の健康情報等を適切に活用して、利用者の行動変容を促すサービスの創出につながるよう、事業に取り組まれない。

投資対象：株式会社タニタヘルスリンク

事業内容：WEBサイト・アプリを用いた健康管理サービス、管理栄養士・健康運動指導士によるヒューマンサービス、通信対応健康計測機器の販売など

支援決定金額：27億円(上限)

支援決定公表日：2018年9月28日



- ・ タニタヘルスリンクのプラットフォームは個人に関する健康関連情報を集約し、各情報を連携させたデータベースの集合体を目指す
- ・ 成果につながる行動変容コンテンツ/ サービスを提供することにより、予防・健康管理を総合的にサポートする仕組みを構築する